

プログラム第1日目：6月13日(土)

一般演題／口演

13:00～15:00

会場3：336教室

●セッション1 ライフコース、ライフステージ

司会：佐藤幹代（自治医科大学）

1-1 生殖医療をめぐる不妊当事者の経験と心理支援

—ライフコースの多様化という視点から—

○竹重幸（京都大学大学院）

1-2 胸部・鼠径部の手術痕とスティグマの内面化

—可視性とモラル・キャリアに着目したライフストーリー研究—

○田中裕史（名古屋大学大学院）

1-3 若年がん経験者の成人移行と「社会的宙吊り」

—リミニナリティ・コムニタス概念をとおした予備的考察—

○笠井敬太（桃山学院大学）

1-4 「あたりまえの身体」としての病

—先天性または幼児期に慢性疾患を発症した子どもの病の理解—

○高橋花子（立命館大学）

1-5 成人期の相対的剥奪と心理的苦痛

—ライフステージによる異質性に着目して—

○塚田祐介（青山学院大学）

一般演題／口演

13:00～15:00

会場4：337教室

●セッション2 保健医療の理論

司会：野島那津子（静岡文化芸術大学）

2-1 医療と医学

—意味論からのアプローチ—

○中川輝彦（熊本大学）

2-2 デジタルヘルスが再編する医療

—医療社会学・科学技術の社会学からの試論的レビュー—

○志水洋人（名古屋大学）

2-3 批判的月経研究に向けて

—障害学の理論的展開を補助線に—

○岩佐光広（高知大学）

2-4 「養護社会学」の汎用性の試み

—オスロ合意和平交渉の再検討—

○安林奈緒美（名古屋学院大学）

一般演題／口演	13:00～15:00	会場5：333教室
---------	-------------	-----------

●セッション3 臨床の実践・ケアの実践

司会：海老田大五朗（新潟青陵大学）

3-1 リーダー看護師のもとでの方向性を調整する実践

—整形外科病棟での退院支援の研究（1）—

○西村ユミ（東京都立大学）・前田泰樹（立教大学）

3-2 カンファレンスにおける退院時期の調整の実践

—整形外科病棟での退院支援の研究（2）—

○前田泰樹（立教大学）・西村ユミ（東京都立大学）

3-3 急性期病院における看護師と看護補助者の協働実践に関する研究

—多層的に実践される食事の配膳に注目して—

○武田ひかる（東京都立大学）

3-4 性の多様性に配慮した看護実践についての一考察

—ジェンダー外来のあるクリニックの実践から—

○三部倫子（奈良女子大学）・影山葉子（浜松医科大学）

3-5 病院という共生空間における人間と病原体

—病院ボランティアの実践に着目して—

○徐朵朵・モハーチ・ゲルゲイ（大阪大学大学院）

一般演題／口演	15:30～17:30	会場3：336教室
---------	-------------	-----------

●セッション4 健康と病いの言説

司会：本郷正武（桃山学院大学）

4-1 1970年代の薬害市民運動についての考察

—薬害問題研究会発行の雑誌『叛薬禍』の事例から—

○松枝亜希子（特定非営利活動法人社会理論・動態研究所/立命館大学生存学研究所）

4-2 近代日本の禁酒運動と飲酒の管理

—禁酒運動と節酒運動—

○松井達也（京都先端科学大学）

4-3 戦後日本の高校保健教育と優生政策

○由井秀樹（理化学研究所／山梨大学）

4-4 「アレルギー」という比喩の比較分析

—『朝日新聞』と『読売新聞』の比較から—

○桑畑洋一郎（山口大学）

一般演題／口演	15:30～17:30	会場4：337教室
---------	-------------	-----------

●セッション5 コミュニケーション

司会：浦野茂（三重県立看護大学）

5-1 曖昧な言語表現が協働タスクの遂行過程に及ぼす影響

—スイカ割りを用いた日本人と外国人の比較分析—

○張悦・竹内勇剛（静岡大学 静岡大学創造科学技術大学院）

5-2 盲ろう者支援における通訳・介助者の役割考察

—買物介助支援の相互行為分析—

○飯田奈美子（関西外国語大学）

5-3 情緒的ケアの欠如がハラスメント行為に及ぼす影響

—男性管理職によるパワハラに焦点化して—

○奥田祥子（近畿大学）

5-4 デジタル化された糖尿病医療のモニタリングとコミュニケーション

—手帳導入による変容を通じた考察—

○細野知子（日本赤十字看護大学）・海老田大五朗（新潟青陵大学）

5-5 病院で出産した女性が妊娠期から助産所助産師と関わった経験

○大和田裕美・太田尚子・長屋和美（静岡県立大学）

RTD 1（市民公開）	13:00～15:00	会場2：322教室
-------------	-------------	-----------

R-1 当事者知と専門知の考察

—盲ろう者，産婦，吃音者，アトピー性皮膚炎病者の「知」から拓く/拓かれる関係性—

企画者：松浦智恵美（立命館大学大学院）

話題提供者：飯田奈美子（関西外国語大学）

大和田裕美（静岡県立大学）

加戸友佳子（摂南大学）

橋本雄太（神戸教育短期大学）

指定討論者：本多康生（福岡大学）

木下衆（慶應義塾大学）

RTD 2（市民公開）	15:30～17:30	会場2：322教室
-------------	-------------	-----------

R-6 デジタルヘルスの社会学

—科学技術と社会の相互作用の探究—

企画者：志水洋人（名古屋大学）

話題提供者：金子雅彦（防衛医科大学校）

澤田雅斗（山梨大学）

山田陽子（大阪大学）

指定討論者：美馬達哉（立命館大学）

プログラム第2日目:6月14日(日)

一般演題／口演

9:15～11:15

会場3:336教室

●セッション6 語りと経験

司会:孫大輔(鳥取大学)

- 6-1 子を亡くした母親における「語り」と「配慮」をめぐる一考察
—被災時に医療的ケアを要する子を失ったMさんのケースから—
○木村美也子(昭和女子大学)
- 6-2 動ける医療的ケア児を育てる家族ケアラーのケア負担の構造とエージェンシーの変容
○友松郁子・山本ベバリーアン(大阪大学)
- 6-3 きょうだい会への初期接続場面における「問題経験」の組織化過程
—「語りうる問題」はいかに成立するのか—
○家老賢太(中央大学大学院)
- 6-4 小児リハビリテーションの幼少期の関わりが、成人期の生活にどのようなつながりをもっているか
—当事者・家族の語りから見える過去—現在の繋がり和生活に大切なこと—
○鈴木哉(社会福祉法人秀峰会訪問看護リハビリステーション豊饒の大地)
- 6-5 モンゴル医療の心身互動療法における医師—患者関係
—患者の体験談を事例として—
○包暁蘭(東京都立大学)

一般演題／口演

9:15～11:15

会場4:337教室

●セッション7 障害と合理的配慮

司会:瀬戸山陽子(東京医科大学)

- 7-1 ろう者による調査・活動実践の主体性を支える環境とは
—非日本語圏で調査・活動を遂行する者の苦勞と工夫の実践と比較して—
○松崎良美(青森県立保健大学)

7-2 合理的配慮の運用困難はなぜ生じるのか

—申請主義と役割移行に注目して—

○高木美歩（立命館大学）

7-3 ジェンダーを織り込んだ社会モデル的合理的配慮に向けた検討

—高次脳機能障害の事例から—

○澤岡友輝（立命館大学）

7-4 Social multi-dependence、Self-dependence、主観的 Well-being との関連性

—「他者を頼る」と「自分で決める・実行する」の至適均衡という視点—

○小野敬済（東京大学）

7-5 ザンビアの精神障害者の社会運動における自己決定の主張

○伊東香純（立命館大学）

一般演題／口演

15:30～17:30

会場3：336教室

●セッション8 現代医療・介護の課題

司会：平野裕子（長崎大学）

8-1 保健医療福祉専門職によるセルフ・ネグレクトの高齢者に対する捉え方の変化

—5名へのインタビュー調査から—

○岩井しおみ（聖路加国際大学大学院/二和・八木が谷地域包括支援センター）・
鶴若麻理（聖路加国際大学）

8-2 「自宅で最期まで」の実相

—介護レセプトデータを用いた高齢末期がん患者の居宅療養期間の分析—

○伊藤美樹子（滋賀医科大学）・眞浦有希（沖縄県立看護大学）・
田渕紗也香（京都光華大学）

8-3 エスニックマイノリティ高齢者と認知症

—オールドカマーとニューカマーの「母語がえり」に着目して—

○伊藤尚子（京都府立医科大学）

8-4 中国人看護師が日本で働き定着する経験

—現象学的研究—

○楊秀娟・朝倉京子・杉山祥子・高田望（東北大学）

8-5 健康はどこで生まれるのか

—東京・谷根千における CBPR と移動式屋台の社会学的考察—

○孫大輔（鳥取大学）・密山要用（医療法人かがやき）・松下弓月（福生山宝善院）

一般演題／口演	15:30～17:30	会場4:337教室
---------	-------------	-----------

●セッション9 保健医療の制度的課題

司会：金子雅彦（防衛医科大学校）

9-1 近代化の視点で見る医薬分業

—非分業100年の要因—

○赤木佳寿子（神戸大学大学院）

9-2 「血液スキャンダル」の日英比較

—集合的な病いの医療社会学的考察—

○本郷正武（桃山学院大学）

9-3 トランス医療における『ガイドライン医療』という理解枠組みと利用者の医療アクセスの認識

○小西優実（東京大学大学院）

9-4 卵子提供の倫理的ガバナンスにおける台湾モデル

—制度設計の可能性と越境的限界—

○曲虹霖（立命館大学）

RTD 3	9:15～11:15	会場5:333教室
-------	------------	-----------

R-3 生きる権利10 安楽死に関する徹底討論

—良い生のために—

企画者：細田満和子（星槎大学）

話題提供者：宿野部武志（一般社団法人ピーペック）

満岡聡（公益財団法人日本尊厳死協会）

杉原正子（まさこ心のクリニック自由が丘）

RTD 4	15:30~17:30	会場5:333教室
-------	-------------	-----------

R-4 乳児院の今後のあり方について

—こどもの権利保障を基盤とした家族支援型実践にむけての検討—

企画者：田中雅美（関西医科大学）

話題提供者：今西裕子（大阪乳児院）

萩倉由紀子（大阪乳児院）

光井朱美（関西医科大学）

開催校企画RTD 5	15:30~17:30	会場6:334教室
------------	-------------	-----------

R-5 ライフの多様性にかかれた保健医療社会学をめざすRTD

企画者：樫田美雄（摂南大学）

発題者：藤澤陽介（住友生命保険相互会社）

「健康増進型保険と医療ビッグデータの社会的意義を考える」

巽真理子（大阪公立大学）

「ライフとキャリアの多様性を踏まえた研究者支援とは」